



平成28年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 山本 達夫
(コード番号3652、東証マザーズ)
問 合 せ 先 常務取締役管理部長兼CFO 古川 聖
T E L 03-6454-0450

営業外損失（為替差損）の発生および業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、営業外損失（為替差損）を計上しました。また、平成28年5月11日に開示した平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外損失（為替差損）の内容

当社は、平成29年3月期第1四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）において、為替相場の変動により、為替差損9百万円を営業損失に計上しておりましたが、当第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、更に円高が進行したことにより期初からの累計で為替差損11百万円を営業外損失として計上いたしました。これは主に当社が保有する外貨建て預金の評価替えにより発生したものです。

2. 平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	137	△194	△194	△194	△71 54
今回修正予想 (B)	192	△364	△376	△366	△135 07
増 減 額 (B-A)	55	△170	△182	△172	
増 減 率 (%)	40.1	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成28年3月期第2四半期)	147	△179	△176	△47	△17 77

3. 業績予想と実績との差異の理由

第2四半期累計期間の売上高につきましては、既存顧客からのランニングロイヤリティ収入が強含みで推移したことおよび保守サポートによる収入に加え、第3四半期以降での売上計上を見込んでおりました国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の受託開発売上の一部を計上したことにより前回発表を上回りました。

第2四半期累計期間の利益面では、次世代LSIの開発進捗により第3四半期以降での発生を見

込んでおりました研究開発費が先行して発生したため、営業損失は364百万円となり、上記のとおり営業外損失（為替差損）等の発生により経常損失は376百万円となりました。また、前事業年度第2四半期において株式を売却したカナダ・コグニビュー社の株式売却代金のうち一部留保されておりました9百万円を受領したため、特別利益が発生しましたが、四半期純損失は366百万円となり、いづれも前回発表を下回る結果となりました。

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日に開示いたしました業績予想を変更しておりませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上